

創意工夫を生かした道徳教育の推進

兵庫教育大学

小寺 正一

1 道徳教育の重要性

(例) 技術革新の進展・発達 社会の拡大・国際化の進展
問題事象の深刻化から

2 教育改革の動向

(1) 教育基本法の改正

(2) 学校教育法の改正

- ・ 規範意識、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度の育成
- ・ 生命及び自然を尊重する精神、環境の保全に寄与する態度の育成
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度の育成
- ・ 他国を尊重し国際社会の平和と進展に寄与する態度の育成

(3) 教育再生会議

* 「社会総がかり」で徳のある人間の育成が必要と提言

(4) 中央教育審議会（平成 20 年）

「子どもたちの現状と課題」

自分に自信が持てず、将来や人間関係に不安を感じている

自分や他者の感情や思いを表現したり、受け取ったりする力が乏しい

家族以外の大人や異年齢の子どもたちとの交流、自然体験などの不足

「道徳教育に直接関係する実態」（社会全体や家庭や地域の変化や家庭や地域の教育力の低下があり）

自制心や規範意識の希薄化

生命尊重の精神の希薄化

基本的生活習慣の未確立

人間関係形成能力の弱体化

3 新学習指導要領に基づいた道徳教育の展開

(1) 改訂の要点

① 道徳教育の目標に伝統や文化、公共の精神の尊重、国際社会の平和や環境の保全など（新）

② 道徳の時間は道徳教育の要（かなめ）

③ 各教科等でも、それぞれの特質に応じて道徳の「内容」を適切に指導

(例) 「国語」の〈指導計画の作成と内容の取扱い〉では、

「第 1 章総則の第 1 の 2 及び第 3 章道徳の第 1 に示す道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第 3 章道徳の第 2 に示す内容について、国語科の特質に応じて適切な指導をすること。」

④ 道徳の時間の役割・機能

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。

(小学校学習指導要領 第 3 章 目標)

* 「道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め」(中学校)

- i 道徳性の育成のために計画的・発展的に指導するための時間
- ii 補充・深化・統合する時間
- iii 道徳的実践力の育成を目標とする時間
- iv 道徳的価値の自覚を深める時間
- v 生き方についての考え・自覚を深める時間
 - (小学校) 自己の生き方についての考えを深める時間
 - (中学校) 人間としての生き方についての自覚を深める時間

⑤ 内容項目の改善

⑥ 道徳教育の方針の明確化 と 道徳教育推進教師を中心にした推進体制の充実

⑦ 道徳教育の全体計画の具体化

⑧ 学校段階、学年段階ごとの指導の重点の具体化

⑨ 道徳性の育成に有益な体験活動の推進

⑩ 家庭や地域社会との連携の強化

道徳の時間の授業公開

家庭や地域社会との共通理解を深める取組みの充実

(2) 道徳の時間の一層の充実

① 協力的な指導など道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実

② 体験活動を生かすなどの発達段階を考慮した創意工夫のある指導

③ 先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなど、児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用

④ 言語で表現する機会の充実を通して、自らの成長を実感できる指導

⑤ 情報モラルに関する指導への留意

情報化の影の部分に対する教育の充実

⑥ 充実のために (実践の再検討・創意工夫)

- ・ 発問
- ・ 話し合い活動
- ・ 資料 (分析・活用・提示など)
- ・ 表現活動
- ・ 書く活動
- ・ 板書
- ・ 説話